



## 女性サークル

部会長：坂本 洋子

女性サークルは、東久留米稲門会の女性会員のための部会で、女性会員の貴重な交流の場となっています。当部会では、月に一度の読書会や、コロナの状況も収まってきたので、皆で出かける活動などもまた始めました。

昨年5月には旧古河庭園の散策、12月には中華料理店での昼食会を行いました。

読書会は、中央町地区センターで行っています。取り上げるのは日本の古典文学で、「古事記」「方丈記」「竹取物語」「平家物語」などを読み、今は「紫式部日記」を読んでいます。

使っている本は現代語訳、原文、解説文の順で書かれていて、誰でも分かる読みやすい本です。

当部会では、東久留米稲門会のすべての女性会員に活動のご案内をしています。女性校友の皆様のご入会をお待ちしております。



## 女性サークル

部会長：三浦 洋子      女性会員：16名

女性サークルは東久留米稲門会設立の翌年平成8年から活動を始めた“歴史ある部会”です。

このような女性会員だけの部会は他の稲門会にはあまりないそうです。

全会員の一割という数少ない女性会員同士の親睦を深めることにとても大きな役割を

果たしてまいりました..

部会長は1～2年で交替し、部会長を中心にしてみんなで活動を決めています。

活動は年に2回の美術館や博物館等の鑑賞、草花園散策、食事会等と、月に1回の読書会です。読書会では「古事記」「伊勢物語」「雨月物語」「方丈記」を読んできました。今年は「竹取物語」に取り組んでいます。

本を読みながら会話もはずむ楽しいひとときです。



## 女性サークル

部会長：三浦 洋子      女性会員：16名

女性サークルは東久留米稲門会設立の翌年平成8年から活動を始めた”歴史ある部会”です。

このような女性会員だけの部会は、他の稲門会にはあまりないそうです。全会員数の一割という数少ない女性会員同士の親睦を深めることにとても大きな役割を果たして

参りました。部会長は1～2年で交替し、部会長を中心にして活動内容を決めていますが、活動としては、年2～3回で、美術館、博物館等での鑑賞、草花園散策、工場見学などです。今年からは、月1回の「読書会」をはじめ、「古事記」に取り組んでいます。女性会員ばかりではなく男性会員にも参加を呼び掛けております。

